



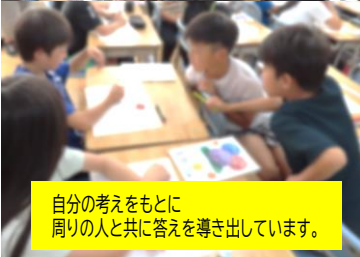
学校教育目標とめざす子ども像を意識し、学力・体力向上に取り組む

学びと活動の充実 東小の9月 ④

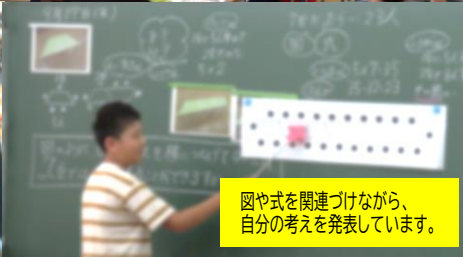
9/17(水) 帯広市教育研究所 研究実践協力校に係わる研修会



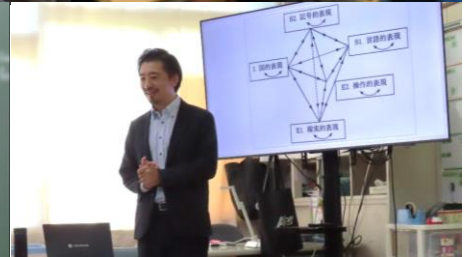
お茶の水女子大学付属小学校教諭 久下谷 明氏による模範授業(5年 算数「数と計算」)と講演会の様子です。



自分の考えをもとに
周りの人と共に答えを導き出しています。



図や式に関連づけながら、
自分の考えを発表しています。



本校職員の他、翔陽中エリア
(帯小・柏小・光南小・翔陽中)の先生
方にもご参加いただきました。

今年度、本校は帯広市教育研究所研究実践協力校の指定を受け、研究と授業づくりに取り組んでいます。17日(水)には、お茶の水女子大学付属小学校教諭 久下谷 明氏を講師に迎え、研修会が行われました。模範授業(5年)では、台形机の台数から座れる人数を考えることを題材に、式と図に関連づけながら一般化を図る活動を、その後の講演では、大切にしたい・意識したい授業づくりの観点や数学的活動を「自分で考える、ともに考える、そして自分で考える」ことをコンセプトに身に付けさせることをご講演いただきました。11月の実践発表会に向け、更に研究を進めてまいります。

9/17(水) 校内授業研究(3年 笹川 教諭)

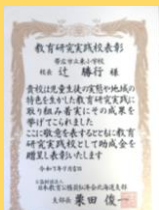


17日(水)、笹川教諭(3年)による授業研究を行いました。「16000について、いろいろな表し方を考え、言葉や式で表す」ことをテーマに、自分の考えを発信する手立てとしてICT(オクリンクプラス)を活用し、学習内容の定着と多面的な考え方の広がりを目指した授業を展開しました。午後に行われた久下谷氏の研修会の中で、授業についてのフィードバックをいただきました。

東の子の活躍

2025 カルビーポテトカップ
優勝

第11回「JCカップ」
U-11少年少女サッカー大会北海道地区予選会
第4位 帯広東FC



日本教育公務員弘済会北海道支部様
より教育研究実践校表彰をいただきました。
ありがとうございました。